

(2) 利用関係別着工戸数の推移

利用関係別に新設住宅着工戸数の推移をみると、これまで貸家は増加傾向で推移しており、持家は減少傾向で推移していた。平成19年度に改正建築基準法の影響によりすべての利用関係で大幅に減少した。平成22年度以降、総戸数は増加傾向にあったが、平成30年度以降、4年連続の減少となった。令和5年度の総戸数は、貸家・給与・分譲住宅の増加により令和4年度を上回った。

